

花見川区地域活性化支援事業

「みんなの学校」活動報告書

(令和元年4月～令和2年3月)

「みんなの学校」実行委員会

事前準備

広報活動

地域内で初めて実施する活動であるため、その周知と参加者募集のため、多彩な広報活動を展開した。

- (1) みんなの学校のPRおよび参加者募集のチラシ5000枚を制作・印刷し、朝日ヶ丘地区内（中学校区内）の自治会を通して、各戸配布または掲示板への掲示を行った。また、その後、みんなの学校の活動の様態と結果、以後の活動予定などを、随時、回覧または掲示により、地区内に伝えた。
- (2) 地区内の学校、病院、医院、店舗などに、趣旨を説明し、チラシの掲示を依頼した。
- (3) 平和交通バスに社内吊り広告の掲示を依頼した。
- (4) 地区自治会連協、社会福祉協議会、青少年育成会などの会議に参加させていただき、みんなの学校の趣旨とを説明し、活動内容、予定などを説明し、協力を依頼した
- (5) 地域新聞に活動広報記事の掲載依頼を2回行い、掲載が実現した

みんなの学校開講式（朝日ヶ丘公民館講義室）



開校宣言（伊藤）

ご来賓あいさつ（朝日ヶ丘公民館長 長谷部氏）

「みんなの学校」の趣旨・狙い説明（橋立）

みんなで考え、話し合い、まちづくり活動につなげるプラットフォームづくり。

第1回まちづくり講座 朝日ヶ丘周辺の今

昔とまちづくり

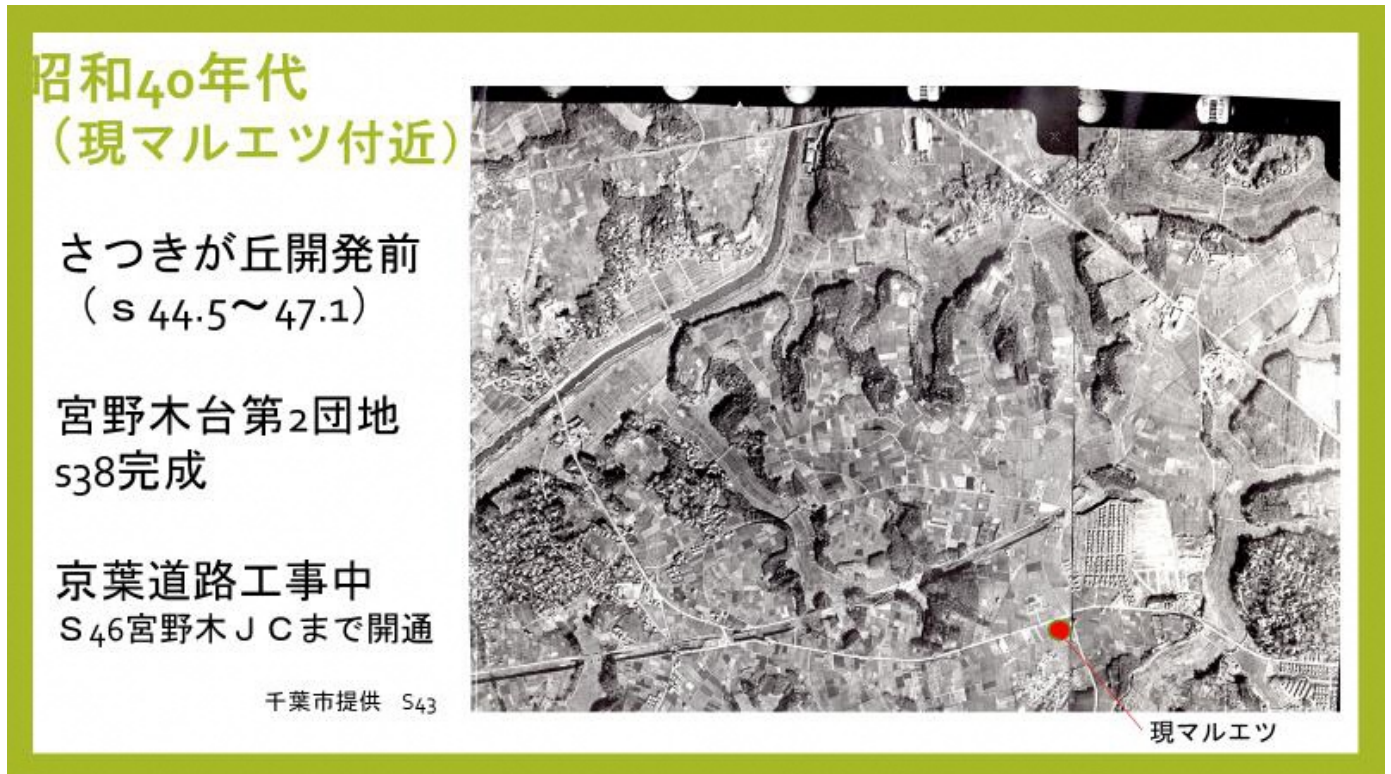
（1）朝日ヶ丘周辺の昔話（郷土史家 中島）

古地図、史跡分布図などを使い説明。当地域は縄文時代の貴重な遺跡が多くあり1万年前からの豊かな「まほろば」だった。



(2) 朝日ヶ丘周辺の開発 (伊藤)

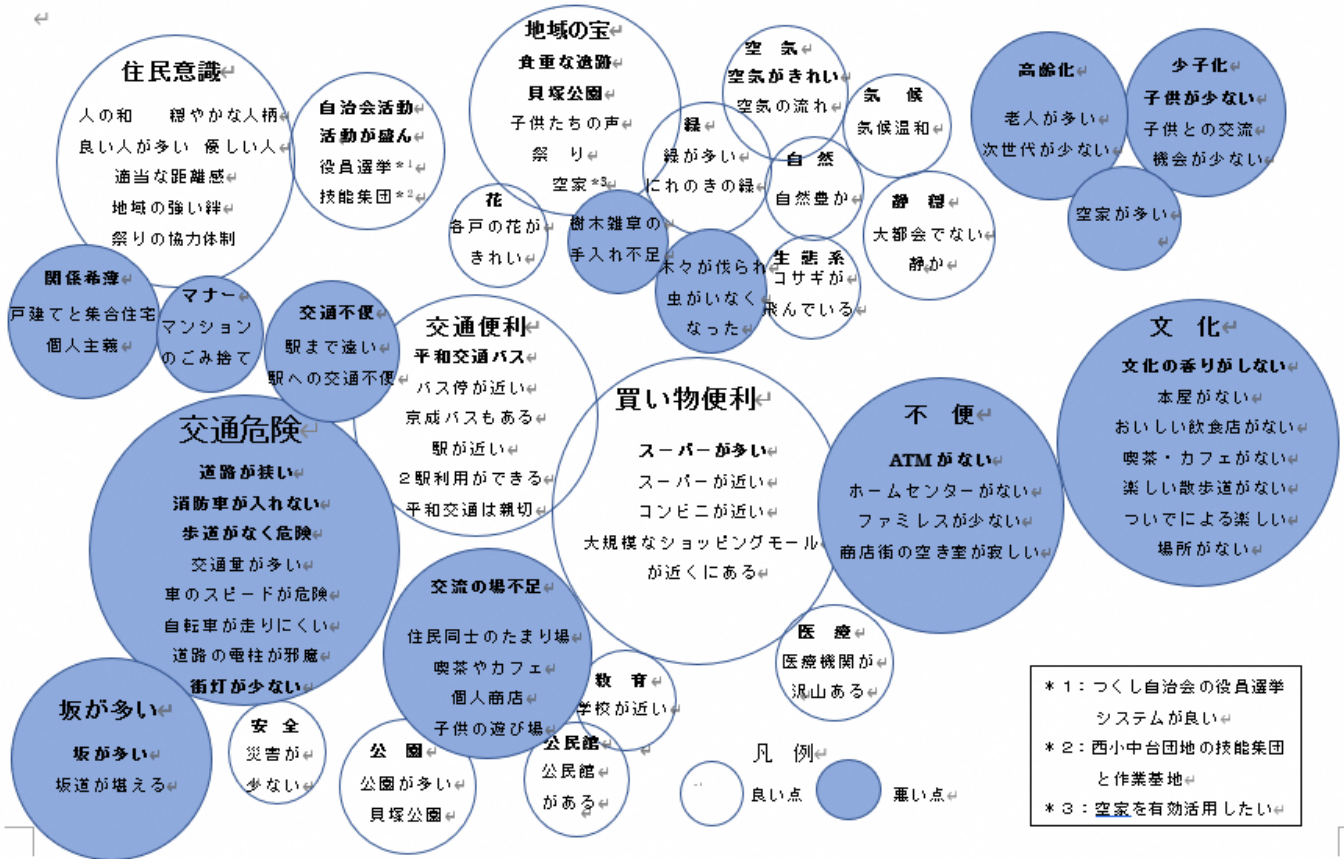
50年前の航空写真、都市計画図などを使い説明。戦後の首都圏への人口集中に合わせ、さつきが丘、にれの木台、西小中台の各団地など開発が急速に進んだ。



第1回ワークショップ「朝日ヶ丘の良いところと悪いところ」

3グループに分かれ、自己紹介後、地域の良いところと悪いところについて、それぞれ一人5つ程度を付箋に記入。模造紙に張り付け項目ごとに分類し、ベスト3、ワースト3を選択し、グループごとに発表。





*1：つくし自治会の役員選挙システムが良い
 *2：西小中台団地の技能集団と作業基地
 *3：空家を有効活用したい

第2回まちづくり講座「まちづくりと地域デビュー」(橋立)

まちづくりは

- ▶ 住民一人ひとりが
前向きに生きる条件を
つくる」こと
- ▶ できる人が、できることを、
できる時に、できる範囲で
- ▶ 一人の百歩より百人の一步



5. 現代のまちづくり作法

- 1) 地域の光を見つける
- 2) 楽しくやろう
- 3) 地域に新しい文化の風を起こす
- 4) 感動と共感で人の輪を広げる
- 5) 世代間の伝承
- 6) 自ら考え実行するワークショップ型まちづくり
- 7) やさしさの総合事業



第2回ワークショップ「自分たちにできること・やりたいこと その1」

地域の課題を解決するために、あるいは地域をもっと暮らしやすく楽しい街にするために、自分たちで何ができるか、どうしたいかを考えよう



第2回まちづくり講座(6/23)の内容報告

テーマ：自分たちができること・やりたいこと

コミュニティ

カフェ・喫茶店、住民のたまり場、子供の交流の場、貸し農園、
子供食堂、コミュニティ食堂、公民館を地域の茶の間に、
公園や広場の木陰にベンチ、コミュニティガーデン、
絹日ヶ丘パル(持ち寄り飲み会)、回覧板は顔を見て渡す、
団地の住民と戸建ての住民の交流、
絹日ヶ丘、花園、稲毛を含めた生活圏で考える

交流の場づくり

空き家の活用、空き店舗活用(にれの木、
西小中台など)、公民館の有効活用、
中学校の空き教室活用

生活支援

パソコン・スマホの使用法指導、高齢者のお
手伝い、一人暮らし世帯の支援体制、買い
物や通院の送迎支援、子供や高齢者の理
容・美容、庭木の手入れ支援、小学生の英
語学習支援(落ちこぼれ対策)、
体操・健康教室

文化

遠遊マップと遠遊ツアー、公民館を文化発信
の場に、地域の文化人(音楽家、詩人など)
とつくるまちづくり、文化活動を通じた子供
との交流、子供たちと音遊び、空き家に作品
展示、空き家でミニライブ、玄関先に花の鉢
を置く、道路や公園に愛称をつける

環境

雑草を取って道を広くする、道路にはみ出す
草木をなくしたい、緑地を守る(民有地に依
存しない)、花いっぱいの街に、セットバッ
クの意味を理解し、快適な居住環境づくり

防災

防災のための対策グループ、
消防団、
地震被害を最小にする対策

ビジネス

手作り小物を売れる店、
絹市・・・

その他

ドッグランをつくる、
ネコの放し飼いをなくす、
ごみ出しルールの徹底

交通

市民バス(小型循環バス)、狭い道路の改善、
通り抜け車両のスピード抑制、自転車逆走禁
止看板を増やす、バス停の周囲の整備、京成
バスの後払いを乗車時払いに戻す(住民運動
で)、平和交通バスに感謝を

赤：3件以上 橙：2件

第3回まちづくり講座「まちづくりの実際」(伊藤節治)

市民のまちづくりの事例、様々なまちづくりの視点の紹介

1. まちづくりの実際

- (1) つくばの事例 (グリーンネックレスの会)
- (2) 緑区おゆみ野の事例 (おゆみの道 緑とせせらぎの会)

2 まちづくりの視点

- (1) 世界のまちづくりに学ぶ (国際まちづくり表彰制度)
- (2) 愛称を考えよう (道路、坂道など)
- (3) 居場所づくりとまちづくり (ゴリラ学者と心理学者)
- (4) コミュニティづくり
 - ・ ケアする場所
 - ・ 社会学者見田宗介のコミューン (コミュニティ)
 - ・ 身近な専門家・持っている人と進めるまちづくり



第2回のワークショップで出されたまちづくりのアイデアに、さらにアイデアを加えて、テーマ別の分類を行い、好きなテーマによって、グループに分かれて検討。



*今回は、まちづくり講座はお休み

第4回ワークショップ「まちづくりの事業を考えよう その1」

これまでのワークショップで出された、まちづくりのアイデアについて、すぐにできそうなことを事業化するための検討を行った。

主な課題は3つ

- ・ふれあいの場づくり
- ・地域の道路を美しく楽しく歩ける道に
- ・縄文の歴史を活かしたまちづくり（中島さんご欠席のため次回検討）

参加者は2つのグループに分かれて方策を検討した

【ふれあいの場づくりグループ】

市古、黒塚、伊藤（節）、伊藤（三）、植田、
阪元、平井、伊原、佐藤

学習機会を広げる

音楽 有償のミニコンサート 詩

料理（男子） 高齢者個食を減らす

農作業体験の場



子供を含め、収穫を楽しむ 収穫したら調理して楽しむ 食事の幅を広げる

つくしファームと相談（後日、メンバー有志がつくしファームを訪ねた）

特技のある人を探して講師に

参加メンバーをどうやって探すかが課題

【美しく楽しい道づくりグループ】

天春、村越、坂本、山本、橋立（達）、橋立（恵）

歩いて楽しい道を作る

まずはメイン道路（公民館前交差点からサンドラッグ前交差点まで）

二つの坂の名称を公募して決める

花やベンチがあってゆっくり歩ける道

道路沿いに同じ花を植える 水仙の球根 500 球を活用

草ボウボウの私有地（公民館交差点前の空き地、サンドラッグの植え込み）を美しくする → 早速現地の下見

公民館から中学校まで、歩道脇の狭い草地、中学校フェンス内の裸地



第5回ワークショップ「まちづくりの事業を考えよう その2」

前回以降、各グループのメンバーが、市役所など関係者にヒアリングを行うなど進展があり、その成果を持ち寄って、次年度に向けての具体的な事業案について検討を行った。

【美しく楽しい道づくりグループ】

コミュニティ道路；地域でつくるシンボル道路

*コミュニティガーデン；9月27日にガーデナーの三浦さんとデザインワークショップ実施、「サンライズガーデン～みんなの庭」と名付け、10月27日に植えこみ予定

10月13日、つくし自治会より、花苗8本を受領
なお、千葉市からの花苗提供は11月9日になる予定

*水仙；10月6日に公民館法肩植え込み済。

10月21日に中学校校庭南側1/3程度済

*みんなの学校でガーデニングおよびバス道路際の水仙え付け作業中の案内表示を設置

全体計画、坂道の愛称などは自治会連協と相談するなど、今後検討

【ふれあいの場づくりグループ】

学び・交流を通じ、地域について考え、地域と協力し、できることから始める

「食」を通じた場づくり

*男の料理教室；身近な食材調達・先生と調理・会食、個食にも対応

9月22日さつきが丘公民館ヒアリング、10月23日福祉センター健康課の協力を得、先生確保OK（無料）準備開始予定

「学習機会」を通じた場づくり；身近なプロ・専門家から学ぶ

*まちづくり；みんなの学校実施中

*音楽（音楽療法）；10月13日にれの木台在住の音楽家吉田さんと話し、12月15日実施に向け企画・調整中

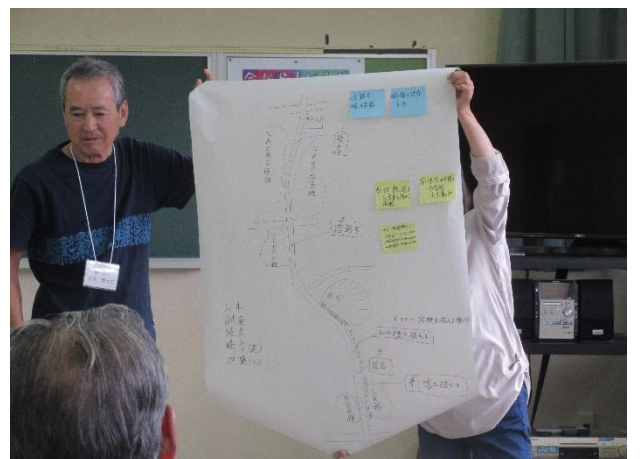
ジャズミュージシャンなど今後検討

*なお詩人については；宮野木台在住の朝倉さんと1月実施に向け図書館フレンズと企画調整中だが、今のところ、グループにこの指に止まる人がおらず取り扱い要検討。共催、協力、後援、非関与など

【歴史グループ】

*遺跡マップ作り；11月9、10日の公民館文化祭展示に向け作成中

専門家から歴史を学ぶ、遺跡案内板を作り設置する、遺跡巡りツアー；今後検討



第5回ワークショップ「実践活動:みんなの庭造成その1」

公民館前庭に「サンライズガーデン —みんなの庭—」を造成した。計画および監修をプロガーデナーの三浦香澄氏にお願いし、50種類以上に及ぶ植物の植栽を行った。

サンライズガーデン ～みんなの庭～

みんなの学校はまちづくりの学習をするだけでなく、実践活動で汗を流す仲間作りの場でもあります。みんなの学校の最初の実践活動は、コミュニティガーデンづくりに決めた。地域内にある放置された花壇を借りて、みんなが楽しむことのできる花壇に改造しようというものである。

コミュニティガーデンとは

1970年代にニューヨーク市民が不法投棄などにより地域に悪影響を与えている空き地を借り受け、市民で管理する庭を造りはじめたことが運動のきっかけ。

東京都内では数多くの事例がみられ、行政が市民を積極的に支援している。江東区では肥料、花苗、園芸器具、看板設置などの助成を行い、現在40団体、1000人が活動中。

当初は幹線道路沿いの植え込み、ワイズマートやマルエツ、サンドラッグその他の商業施設や公共施設の花壇を対象に考えていたが、交渉は成立せず断念。

ワイズマート駐車場

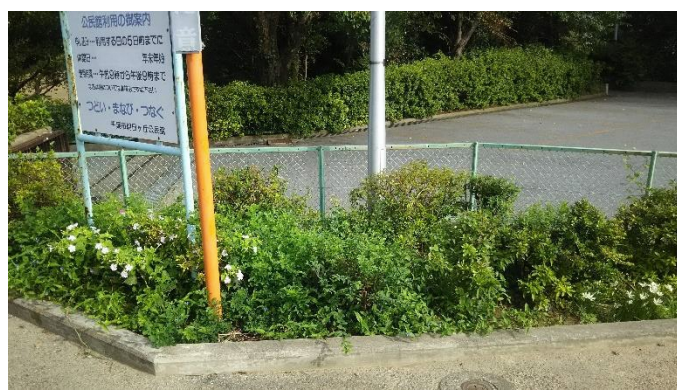


マルエツ駐車場



そこで、手始めのモデル事業として、朝日ヶ丘公民館からの要請もあり、公民館前庭を整備することになった。みんなの学校の拠点となっている公民館の足元をまず美しくしようということで、公民館の全面的なご協力のもとに、活動を開始した。

対象となる花壇は約20㎡のひし形で、ツツジが植わっていたが、雑木雑草が根を張り、藪のようになっていた。そのため、雑草取りや雑木の抜根から作業を始めた。



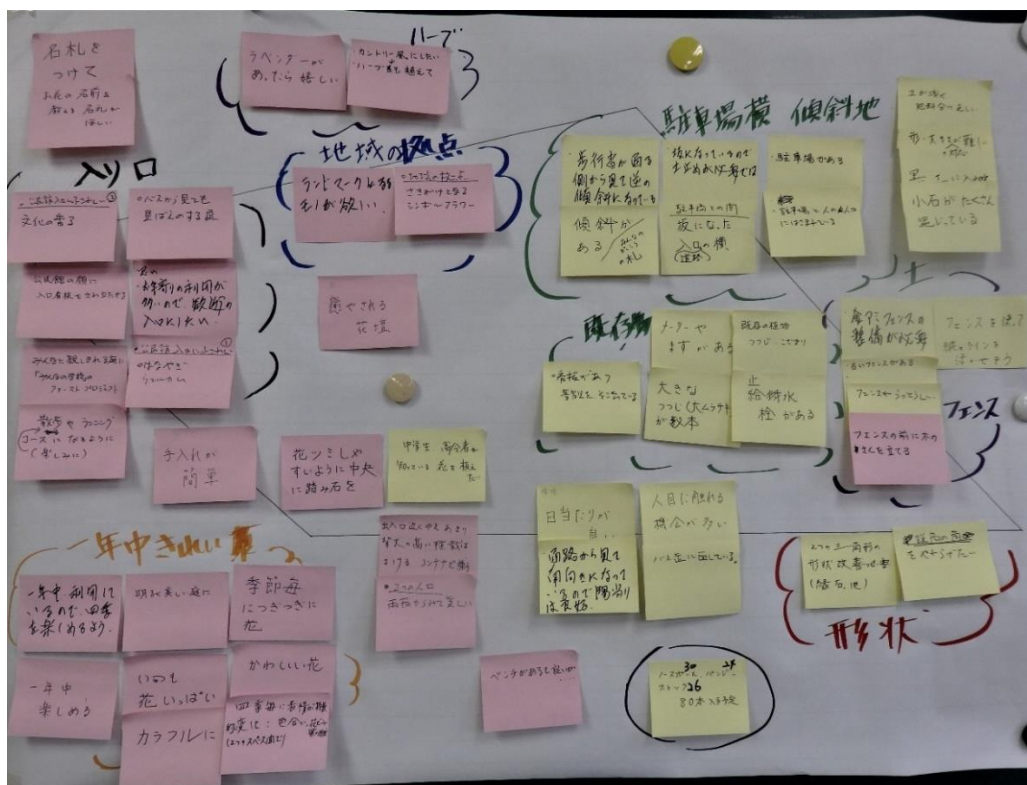
この作業には、公民館前の道路で水道管の更新工事を行っていた建設会社の方々のご協力を得ることができた。



さて造園作業を始めるとは言っても素人集団なので、プロのガーデナーである三浦香澄さん(NPO 法人グリーンワークス代表)の指導の下、計画を進めることにした。

ガーデニング事前学習会

みんなの学校では、三浦さんのご指導による事前の学習会と、参加者の夢を詰め込んだ花壇の計画づくりを行いました。名称は朝日ヶ丘地区にちなんで、「サンライズガーデン～みんなの庭～」と決めた。



ガーデニング作業の実施

10月27日(日)みんなの学校のメンバー14人が公民館に集合し、いよいよ三浦さんの指導の下に、花壇の整備作業が始まった。

まずは硬い土を耕し、腐葉土と赤玉土を大量にすき込む土づくりから始め、中心線に敷石(完成後の管理道)を置き、植え込み作業を開始。



50種以上の様々な草花を植えた。植えた後のメンテナンスに手が掛からないように、宿根草を中心に、日向の好きな花、日陰を好む花、大きくなる花、地表に広がる花など、とりどりの花を植えていった。公民館の片隅に埋もれていた、アガパンサスの株もガーデンの主役として返り咲いた。



一年草の植え付け

さらに、11月9日、市役所から80株の花苗の提供を受け、植え付けを行った。



植えた直後から、見違えるような美しい庭になったが、これから年を経て、庭は次第に成長し、来年の秋には完成形になると期待される。

現在の「サンライズガーデン～みんなの庭～」

12月9日現在のサンライズガーデン 千葉市提供の1年草の植栽と「サンライズガーデン～みんなの庭」の名称表示、そして、区役所を始めご協力いただいた方々のへの謝辞を掲示した



シンボルロードづくり

花壇づくりと並行して、公民館前のバス通りを、朝日ヶ丘地区のシンボルロードとして、美しい花の道にする作業を行った。つくし自治会の有志により運営されている「つくしファーム」からいただいた水仙の球根500級余りを、公民館、中学校の道路沿いのフェンス内側に植え付けた。

また、中学校南西の角には、美しい薄紫の花を咲かせるアガパンサスを15株植え付けた。そのほか、公民館内の空き地に花の種（混合）を播いた。

この活動は今後も続け、宮野木台方面（草野水路など）（にも広げて行く予定である。



**フェンスに沿って
水仙の球根を植えました**
春をお楽しみに！
みんなの学校



音楽療法講座

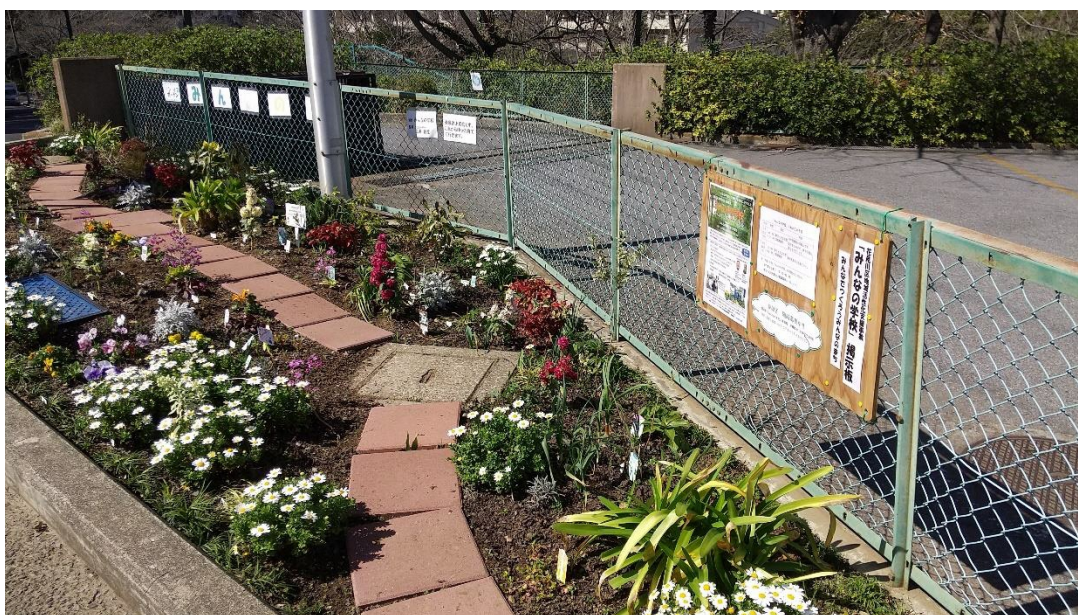
朝日ヶ丘公民館との共催により、地域在住の音楽療法の専門家、吉田美名さんを講師に迎え、音楽療法講座を開催した。事前に社協のメンバーややシニアリーダー体操参加者、公民館の文化祭参加者等にチラシ配布を行った結果、75名もの参加者があり、にぎやかなイベントとなった。歌唱指導やトーンチャイムを使った参加者の演奏体験もあり、楽しい時間を過ごすことができた。参加者の評価も高く、みんなの学校の活動に関する共感もいただいた。





朝日ヶ丘中学校フェンス沿いに植栽した水仙 3月下旬の開花状況

みんなの学校掲示板の設置



3月15日 「みんなの庭」にみんなの学校掲示板を設置。

みんなの学校の活動趣旨と活動内容、そして活動予定表を掲掲示することにより、住民へのきめ細かい広報が可能になった。

さらに西小中台団地内の焦点の協力を得て、店舗前に掲示案を出すことができた。



「みんなの学校」活動の成果

活動を通して分かったこと

- ▶ 地域には埋もれた宝がある
- ▶ 地域には隠れた危機があるかもしれない
- ▶ 地域には様々な人材がいる
- ▶ その一人ひとりが多様な人脈を持っている
- ▶ 活躍の場をつくれれば人は生きいきと活動する
- ▶ 結果が出れば弾みがつく
- ▶ まちづくりには応援団がいる
- ▶ まちづくりに使うことができる様々な助成制度がある

様々な活動のアイデアが生まれ、その中のいくつかは、すでに実現した

- ▶ サンライズガーデン～みんなの庭～
- ▶ 縄文の遺跡マップ（公民館文化祭で展示）
- ▶ 音楽療法講座
- ▶ 懇親会

活動を通じて地域の創造力は確実に増している。

反省点と今後の課題

- ▶ 活動は当初の想定以上のスピードで進んでおり、ある程度の制御が必要
- ▶ 1万9千人に伝えることの難しさを痛感してる
- ▶ まだ主催者とお客様の関係から抜け出していない
- ▶ みんなの学校がなくても、できる人ができる時にできることをするという状況が理想
- ▶ 3年間の補助期間が終わったら活動も終わってしまうということがないよう、自立的な活動の方向を考えているが、まだ見えていない

以上が2019年度の「みんなの学校」活動報告である。1年間の活動を通してご支援、ご協力を賜った関係各位に、厚く御礼申し上げます次第である。